

V74b Japanese Virtual Observatory の新機能

小宮悠, 白崎裕治, 大石雅寿, 水本好彦, 大江将史 (国立天文台), 田中昌宏 (筑波大学), 安田直樹 (東大宇宙線研), 増永良文 (青山学院大), 石原康秀, 堤純平, 檜山貴博 (富士通), 中本啓之, 坂本道人 (セック)

国立天文台 JVO プロジェクトでは、大規模かつ多様な観測データを用いた天文学研究の推進に向けて、バーチャル天文台:Japanese Virtual Observatory の開発を進めている。現在、JVO ポータルサイト (<http://jvo.nao.ac.jp/portal>) を通じて、世界各国に散在する約 10,000 のデータサービスに対し、一括してアクセスし、容易にデータを取得することが可能になっている。また、これらのデータからの作図機能なども実装されている。

今年度は、従来のポータルサイトを通じたアクセスに加えて、コマンドラインから VO データへのアクセスを可能にするための、JVO コマンドラインツールの開発を行ってきた。これにより、大規模なデータの取得や、様々なパラメータでの検索結果の取得が、容易に行えるようになる。

また昨年度、天球画像上に観測データの分布を表示する、JVO Sky を作成したが、今年度はこれに、すざく衛星の観測データを掲載した。

さらに、様々な VO サービスに、どのようなデータが存在しているか、あらかじめデータの収集・蓄積を行う、VO クローラの開発を行った。これを JVO Sky と組み合わせることで、全ての VO サービスの観測データの分布を可視化できるようになる。また、蓄積データを用いた検索を可能にする。

これらの新機能により、全天にわたる大規模データの活用がより容易になると考えられる。